

令和元年度 自己評価書

学校名

北海道室蘭工業高等学校

1 本年度の重点目標

- (1) 基礎的・基本的な学力を確実に身に付け、自ら学び続ける意欲と態度を育てる。
- (2) 豊かな人間性と自主・自律の精神を育てるとともに、望ましい人間関係を構築させる。
- (3) 自己の在り方、生き方を考え、自らを高め、主体的に進路を決定する能力を育てる。
- (4) 自他の生命や人格を尊重し、健康で安全な生活を営む習慣を育てる。

2 自己評価結果

評価項目・指標等			達成状況	取組の適切さ	今後の改善の方策
大項目	中項目	小項目			
学校経営全般	学校運営	学校運営は全教職員間の協働体制のもと、推進されている。	A	A	・学校経営への参画 ・教職員間の良好な人間関係の構築推進
		校内研修会の実施が適切に行われている。	A	A	
		全教職員の共通理解による指導の一貫性は図られている。	B	A	
	関係機関との連携	保護者との日常的な連携が図られている。	A	A	・PTA活動の充実 ・情報発信の工夫及び改善 ・地域、保護者、関係機関とのさらなる連携の強化
		地域と連携した多様な教育活動の推進(現場見学、インターンシップ、地域の人材活用、地域行事への参加)が適切に行われている。	A	A	
		スクールカウンセラーの活用は積極的に行われている。	A	A	
		本校の教育活動をホームページ等で家庭・地域に情報発信している。	A	A	
		充実したPTA活動が行われている。	B	A	
	学習指導	学習活動が効率的かつ適正に行われるよう設備等が整備されている。	B	A	・アクティブラーニング等による授業改善 ・授業規律の徹底 ・学習習慣の確立
		学習習慣の定着、学習意欲・学力の向上、原級留置者の減少等の取り組みが行われている。	B	A	
教育活動全般	生徒指導	規律ある生活習慣の確立(基本的生活習慣、服装、頭髪、授業)の取り組みが行われている。	C	B	・地域、保護者、関係機関とのさらなる連携の強化 ・生徒理解へのさらなる推進
		生活指導において保護者・関係諸機関との緊密な連携が保たれている。	B	A	
		本校の生徒指導は「学校いじめ防止基本方針」通りに実行されている。	A	A	
	進路指導	進路意識の高揚を図る取り組みの推進が行われている。	A	A	・インターンシップの充実 ・キャリア教育の推進 ・資格取得推進を含めた進路実現のための支援の充実 ・情報提供の工夫、改善
		望ましい職業観や勤労観を身に付けるような進路指導が行われている。	B	A	
		生徒や保護者へ進路情報の提供が積極的に行われている。	A	A	

3 次年度以降の目標設定等に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

・本校生徒において、基本的生活習慣、授業規律を身に付ける等への対応を十分行っているにもかかわらず、達成が図られていないので、教員間の意思統一、保護者との連携協力を図りながら、達成への取組を充実させていく。